

表層地盤のモデル化と地震動の増幅特性の評価

Construction of soil profile model and evaluation of site amplification of ground motion

翠川 三郎 [1]

Saburoh Midorikawa[1]

[1] 東工大・総理工・人間環境システム

[1] Dept. of Built Environment, Tokyo Institute of Technology

過去の被害地震で被害の大きさは地盤条件に大きく支配され、これは表層地盤により地震動が大きく増幅されるためと説明されてきた。そこで、適切な防災対策を策定するための基礎として、表層地盤の影響を考慮した地震動マップを作成することが重要であることが認識されてきた。先駆的な研究としては、今村(1913)の東京・大阪の予想震度分布図がある。その後、1960年代から自治体等により表層地盤の影響を考慮した地震被害想定が行われるようになり、1970年代から本格的に行われるようになった。ここでは、最近の国や自治体等の地震被害想定で行われている表層地盤のモデル化やそれに基づいた地震動の増幅特性の評価の事例について紹介する。